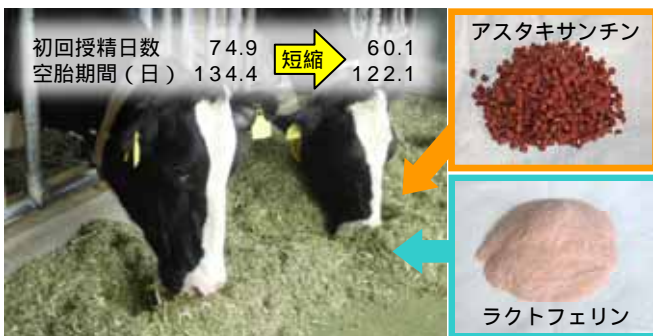


研究トピックス

機能性サプリメントを活用した 高泌乳牛の繁殖性改善技術

高泌乳牛は繁殖性が悪くなるのが問題になっています。そこで、抗酸化性サプリメント（アスタキサンチン）と抗菌性サプリメント（ラクトフェリン）を飼料に添加する試験を行いました。その結果、初回授精までの日数や空胎日数が2週間程度短縮し、受胎率が上昇するなど、繁殖性に改善が見られました。また、泌乳量の増加、乳脂肪率の低下抑制も認められました。（畜産研究部）

本研究は新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業（農林水産省）により実施しました。



もみ米を給与した肉用名古屋コーチン の生産性は良好

国際的に需給が不安定な輸入飼料用穀物から国産飼料用米の利用に関心が集まっています。そこで、鶏の消化機能特性を活かし、飼料用米を何ら加工せずに全粒もみ米のままで肉用名古屋コーチンに給与しました。飼料米の嗜好性は良好で、もみ米を飼料の30%与えることで、増体性や収益性が優れることがわかりました。また、肉のオレイン酸含量が増加し、食味にも優れることがわかりました。（畜産研究部）



容積計を用いた茶新芽の 熟度判定技術を開発中

摘採時期を判断する上で、茶新芽の熟度は重要な情報です。一般的には新芽の生育程度や手触り等で判断しています。今回、新たな判断基準として新芽の密度に着目したところ、新芽の経過日数、重量、窒素含量等と関係があることがわかりました。摘採時期の判断と共に品質評価を現場で簡易に判定できる技術として期待されます。（東三河農業研究所）



新芽を採取し、容器に充填・乾燥後容積計で測定します。

中部大学応用生物学部との 研究協力に関する協定を締結

平成24年7月13日、学術の発展及び農業の振興を図るため中部大学と研究協力に関する協定を締結しました。この協定により、組織的な連携体制の構築を図り、農業における育種栽培技術の高度化や農作物の高付加価値化などの課題に取り組んでいきます。（企画普及部）



研究短報第104号

編集・発行 愛知県農業総合試験場
〒480-1193 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-1
TEL 0561-62-0085 内線323 (企画普及部)
FAX 0561-63-0815
<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>